

宣 言

我々の故郷、択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島は、父祖伝来の地として我々が受け継いできた我が国固有の領土である。

我々元島民は、ソ連の不法占拠によって強制的に生まれ育った島々を追われた。以来、六十有余年、幾多の苦難と闘いながら、再び故郷に帰ることを一心に願い、北方領土返還要求運動の先頭に立って、その使命を果たしてきた。

政府は「北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結する」という一貫した立場を堅持して外交交渉を進めてきたが、今なお具体的な進展が見られないことに憤りを禁じ得ない。

我々元島民は、すでにその半数以上が他界し、生存している者も平均年齢が七十六歳を超える中で、領土問題の解決にこれ以上歳月を費やすことは許されない状況にある。

政権交代を果たした鳩山総理は、就任の際「半年から一年程度のうちに領土問題の解決に向けた進展を図りたい」との意欲を表明した。

我々はこうした発言に大いなる期待をしており、政府に対し、一刻も早い領土問題の解決と平和条約の締結に向け、具体的かつ実質的な成果の見える外交交渉を強く求めるものである。

本日、この総会において、元島民及び後継者の総意をもって「北方四島の早期一括返還」の実現を期し、今後とも一丸となって北方領土返還要求運動に遇進することを誓い、右宣言する。

平成二十二年五月二十四日

平成二十二年度通常総会

社団法人 千島歯舞諸島居住者連盟